

【3】

あなたは子どもにどんな言葉をかけますか？
(仲間づくり)

【学習資料】

学校の授業を受けて、帰宅後の食事中の会話

子ども：今日、「いじめ」について授業があった。

なんかよくわかんないけど、急に無視されて・・・

結局死にたいって思うほどになっていく。

そんなふうになったら、やっぱり怖いなあ～。

保護者：そうだね。

いじめって、よくないよね。

子ども：んー、いじめはよくないってわかってる。

なくさないといけない！なんてかっこいいこと言ったけど・・・

本当は関わりたくないな。

いじめを見てても、自分は・・・何もしないかも？

保護者：どうして？

子ども：だって・・・

誰かをかばったり、反抗したら、明日から自分がいじめられちゃうじゃないか！

そんなのいやだ！！

保護者：・・・そうかなあ

子ども：よく、相談しなさいって言われるけど、できるわけないよ。

どうせ、相談しても解決しないし。

保護者：でも、ほっておいたらいじめはなくなるらないよ。

子ども：わかってるけど・・・

どうしたらいいのかなあ。

この後、子どもにどのように言いますか

【学習のポイント】

○子どもたちの人間関係における心の声に寄り添う。

○身近な事例をもとに、子どもたちの現状となる背景を探り、子どもたちに寄り添うことができるよう、大人として何ができるかを考え、共有し、連携できる場をつくる。

【すすめ方（90分）】

流れ	分	主な活動	主な発問	留意点
導入	5	1 本研修会のねらいや進め方の説明をする。 ・基本的マナーについて確認	■本研修会のねらいや進め方について説明する。 ・真面目な雑談 ・「参加・尊重・守秘」を確認	◆事前にテーブルホストになっていただく人を決めておくと良い。
	10	2 アイスブレイクをする。 ・仲間さがしでグループづくりをする。（4人グループ）	■キーワードで同じ事柄が当てはまる人同士で集まりましょう。（好きな食べ物）	◆取り残される人がないように配慮し、声掛けなどする。
展開1	18 (3)	3 グループごとに自己紹介をする。	■自己紹介をしましょう。 ・名まえ(愛称でもよい) ・子どもの学年 ・自分の中学時代を一言紹介	◆雰囲気づくりと、保護者の中学時代を振り返る。
		4 ワールドカフェ（第1ラウンド）をする。		
		(5) ①ワールドカフェの方法とテーブルホストを確認する。 （動かずに残って説明をする人）		◆資料1参照
	(10)	②意見交換のお題を出す。 付箋に（1枚1項目）思いつくものを書き出す。	■学習資料を読んで、「保護者として子どもたちに、どんな言葉をかけられるでしょうか？」付箋に書きましょう。 例：「あなたが当事者だったらどうして欲しい？」	◆付箋をグループ分けしながら模造紙に貼っていく。
		③付箋に書いたものをひとりずつ紹介しながら、グループ分けする。 グループ分けしたものをもとに感想を話し合う。	■付箋に書いたものをグループ分けしながら、感想を話し合しましょう。	

展開 2	1 5	<p>5 ワールドカフェ（第2ラウンド）をする。</p> <p>(1) ①テーブルホスト1人を残し、他の人は別テーブルへ移動する。</p> <p>(2) ②新しいメンバーの自己紹介をする。</p> <p>(2) ③テーブルホストが、第1ラウンドで出した意見を紹介する。</p> <p>(10) ④第1ラウンドと同様の内容で意見を出し合い、模造紙に直接書き込んでいく。</p>	<p>■自己紹介をしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名まえ（愛称でもよい） ・子どもの学年 <p>■保護者として子どもたちに、どんな言葉をかけられるでしょうか？</p> <p>■保護者としてどのようなことが言えるか、どのような態度をとるか、話し合いながら模造紙に追加案を書き込んでみましょう。</p>	<p>◆模造紙をもとに第1ラウンドで出した意見を紹介する。</p> <p>◆会話のないグループがあれば、話のヒントを伝える。</p> <p>◆「参加」「尊重」「守秘」のルールを確認しながら進める。</p>
展開 3	1 5	<p>6 ワールドカフェ（第3ラウンド）をする。</p> <p>○第2ラウンドと同様の活動をする。</p>	<p>■第2ラウンドと同様の活動をしましょう。</p>	
展開 4	1 5	<p>7 ワールドカフェ（第4ラウンド）をする。</p> <p>(1) ①テーブルホスト1人を残し、他の人は最初のテーブルへ戻る。</p> <p>(2) ②テーブルホストが、第3ラウンドまでに出た意見を簡単に紹介する。</p> <p>(12) ③グループの中でそれぞれがどのような感想を持ったか意見交換する。</p>	<p>■模造紙に書き込んである内容・事柄について思うこと、他のグループに行って感じたことなどを出し合いましょう。</p>	<p>◆意見の良し悪しではなく、保護者としての思いを共有する。</p>
まとめ	1 2	<p>8 ファシリテーターがまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を紹介する。 	<p>資料2 「子どもの権利条約」</p> <p>■子どもの生きる権利を守るために私たち保護者がしなければいけないことがあります。</p> <p>資料3 「いじめの構造」</p>	<p>◆参考資料として資料2、資料3を配布する。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者としてできることがあることを伝える。 ・参加者に、たくさんの意見の中から、自分が出来ることを持ち帰ってもらう。 <p>9 ふりかえりシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■資料の中の自分たちの位置を確認しましょう。 ■無関係な人はいません。ご家庭の子どもたちの位置も意識しながら私たち保護者がいじめを放置しない関係性を築いていきましょう。 ■子どもたちが自分自身を大切だと実感でき、安心して自分の意見が言えるような環境をつくるため、私たち保護者同士の話し合う機会、コミュニケーションを大切にしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆テーブルホストが、自分の感想を言ってもよい。
--	--	--	--	---

<ワールドカフェとは？>

「ワールドカフェ」は、カフェでの会話をするように、気楽な雰囲気の中で意見を出し合います。

また、時間を区切って他のテーブルに移動し別の人たちとの会話を楽しむことができます。

流れは、まず第1ラウンドでは、現在のテーブルで約15分間話し合いをします。

第2ラウンドで、テーブルホストはそのテーブルに残って、それ以外の方はそれぞれ別のテーブルに移動して、新しいメンバーで話し合いをします。

約15分間。

第3ラウンドで、また、テーブルホストはそのテーブルに残って、それ以外の方はそれぞれ別のテーブルに移動して、新しいメンバーで話し合いをします。約15分間。

第4ラウンドで、最初のテーブルにもどり、最初のメンバーで感想などを出し合います。

そして、最後に全員でわちあいをします。

テーブルホストの役割・・・

- 1、はじめのグループから動かず、そのグループに残ります。
- 2、新しいメンバーに、模造紙に書いてあることなどの説明をしたり、質問に答えます。（簡単に、簡潔に）
- 3、グループの一人だけが話してしまうことがないように配慮します。
- 4、話し合いのルールを確認します。

子どもの権利条約のあらまし

我が国が平成6（1994）年に批准した児童の権利に関する条約（子ども権利条約）では、子どもにかかわる全てのことは、子どもにとってもっともよいことは何かを考えて行われなければならないと定められています。

また、子どもの持つ権利が約40条あげられていますが、それらは以下の4つに大きく分けられます。

生きる権利

- 防ぐことのできる病気などで命を奪われないこと。
- 病気やけがをしたら治療を受けられること。



など。

育つ権利

- 教育を受け、休んだり遊んだりできること。
- 考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができること。



など。

子どもの権利

守られる権利

- あらゆる種類の虐待や子どもの幸せを奪って利益を得るようなことから守られること。
- 障がいのある子どもや少数民族の子どもなどは特別に守られること。



など。

参加する権利

- 自由に意見を表したりすることができ、子どもの発達に応じてその意見が考慮されること。
- 集まってグループを作ったり自由な活動をしたりできること。



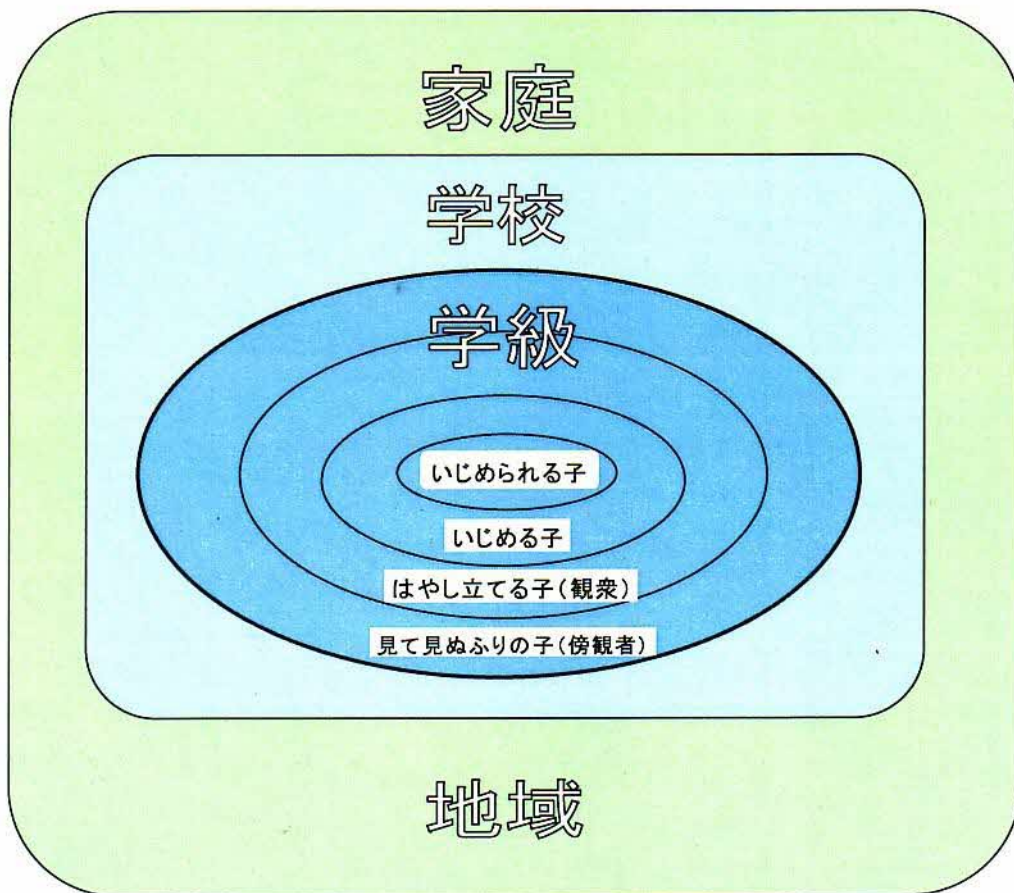
など。

「PTA人権研修会のための人権学習プログラム集より」
（平成22年度鳥取県人権教育調査研究委員会作成）

3 いじめの構造

いじめは、表面的には、「いじめる子」と「いじめられる子」との支配・被支配の関係のように見えることがあります。しかし、今日のいじめは、いじめる子、いじめられる子の他、これらを取りまく「はやし立てる子ども（観衆）」や「見て見ぬふりをする子ども（傍観者）」という集団が存在し、全体として四層構造からなっているとわれています。さらに、学校や家庭・地域社会の中にも、いじめを生みやすい要因があります。

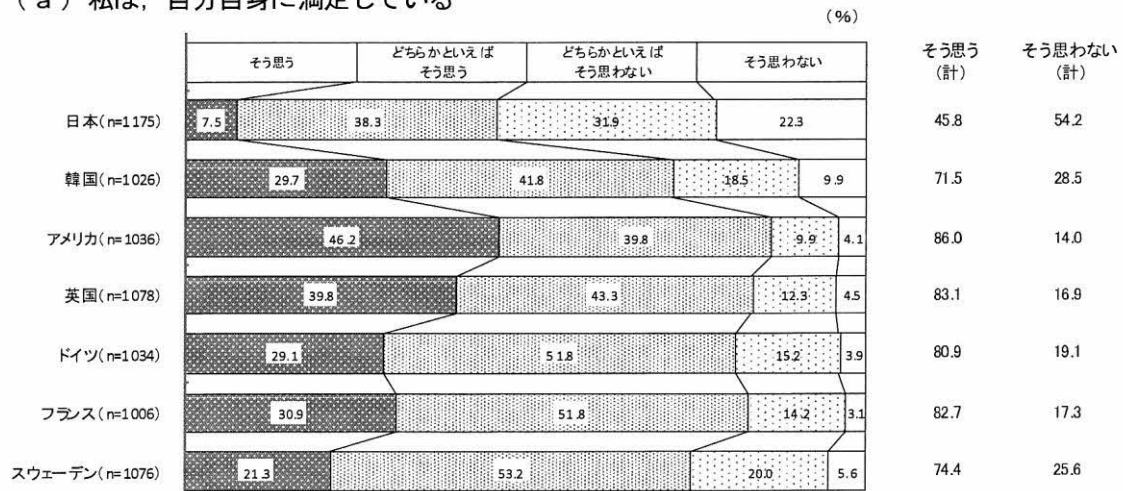
図1：いじめを生み出す構造図



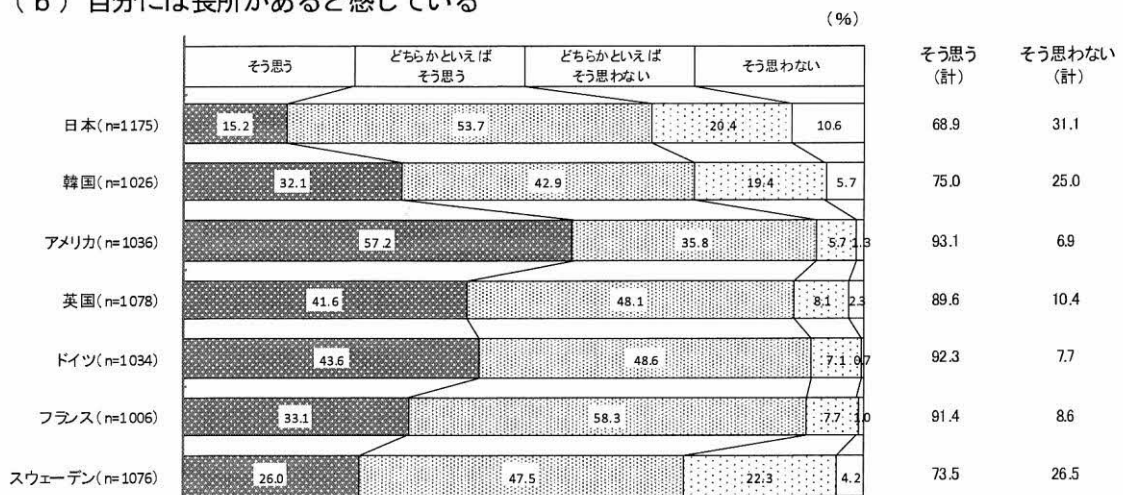
「いじめ防止教育プログラム」より
 (平成19年度鳥取市教育委員会発行)

【国別】

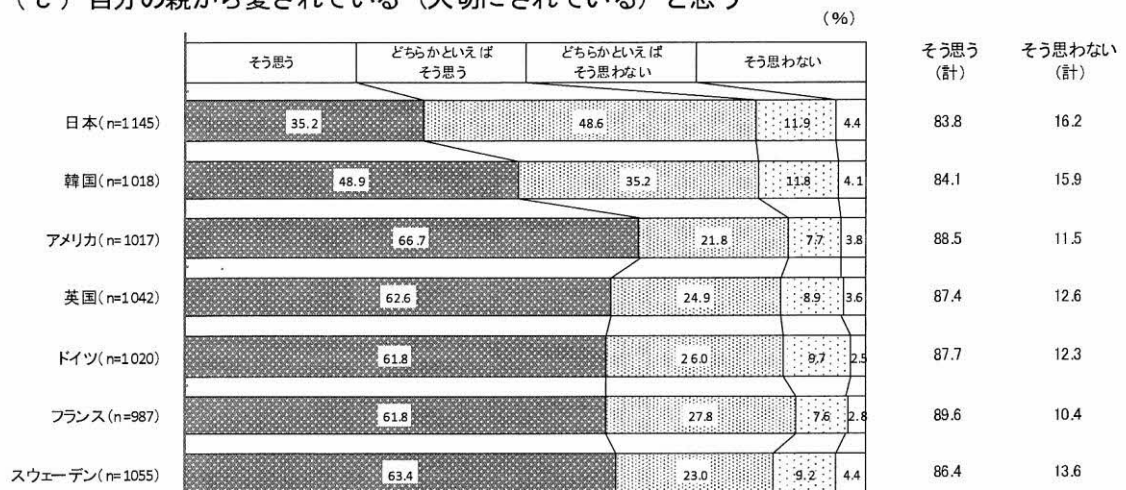
(a) 私は、自分自身に満足している



(b) 自分には長所があると感じている



(c) 自分の親から愛されている(大切にされている)と思う



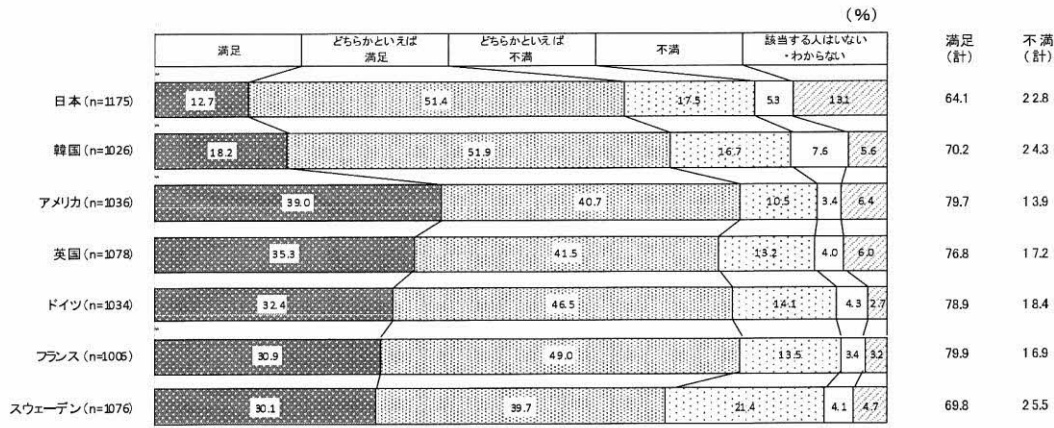
6 友人関係

(1) 友人

Q11 あなたは、友人との関係に満足を感じていますか、それとも不満を感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)

友人関係の満足感について、日本の若者は**64.1%**が『満足』（「満足」**12.7%**＋「どちらかといえば満足」**51.4%**）と回答している。

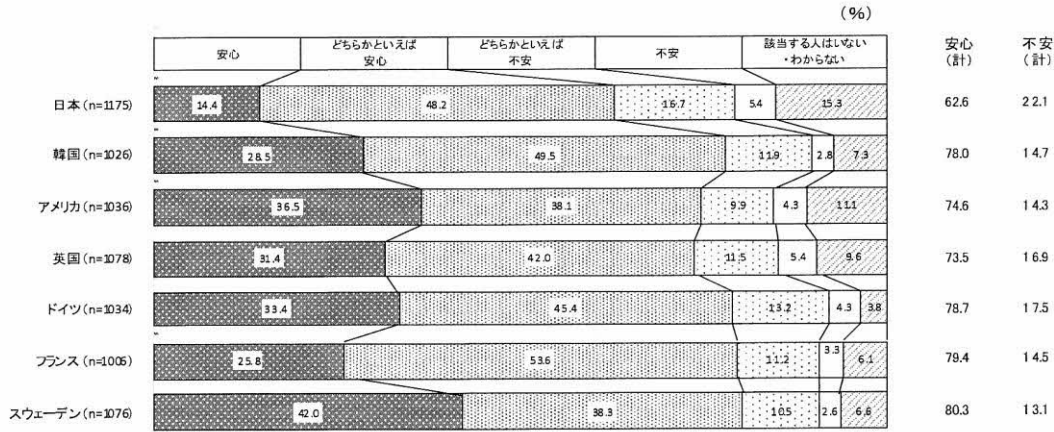
7か国比較で見ると、フランス（**79.9%**）、アメリカ（**79.7%**）、ドイツ（**78.9%**）、英国（**76.8%**）では約8割が『満足』と回答しており、以下、韓国（**70.2%**）、スウェーデン（**69.8%**）となっている。



Q12 あなたは、友人との関係に安心感を覚えますか、それとも不安を感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)

友人関係の安心感について日本の若者に聞いたところ、**62.6%**が『安心』（「安心」**14.4%**＋「どちらかといえば安心」**48.2%**）と回答している。

7か国比較で見ると、スウェーデン（**80.3%**）、フランス（**79.4%**）、ドイツ（**78.7%**）、韓国（**78.0%**）では8割前後が『安心』と回答しており、以下、アメリカ（**74.6%**）、英国（**73.5%**）の順となっている。



平成25年度「わが国と諸外国の若者の意識に関する調査」より（内閣府）

(http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/thinking/h25/pdf_index.html)